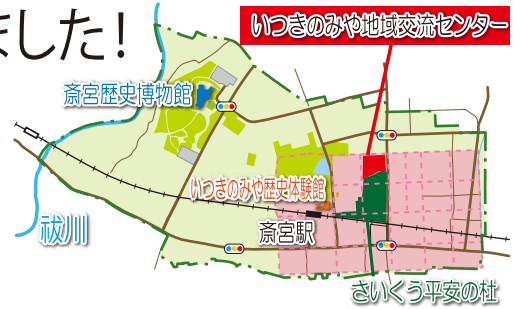


さいくうあと通信

発行 明和町 斎宮跡・文化観光課
(三重県多気郡明和町大字馬之上 945 番地)
電話 : 0596-52-7126 FAX : 0596-52-7133
E-mail : saikuuato@town.mie-meiswa.lg.jp

いつきのみや地域交流センターが完成しました!

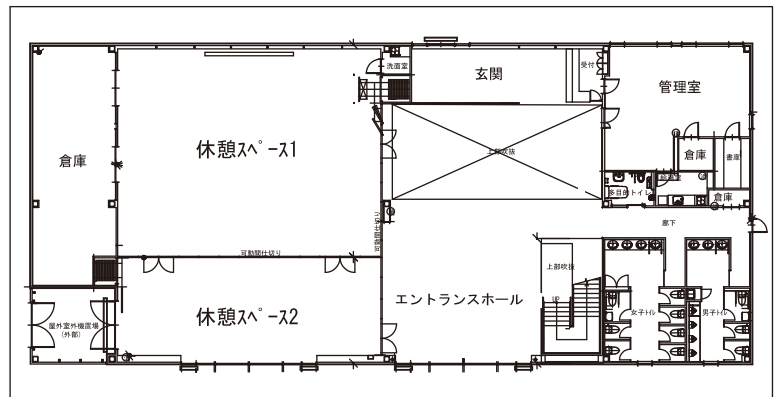
3 月 19 日に、いつきのみや地域交流センターの竣工式が開催されました。4 月 1 日以降、地元での利活用だけでなく、斎宮跡への来訪者のおもてなしの拠点としてオープンします。



この施設には、お土産などの物販スペースや、最大 300 名ほどが収容できるスペースがあり講演会やさまざまな会議などに利用いただけます。また、入口には斎王まつりで使用している斎王の乗る「葱華輦^{そうかれん}」が展示され、斎宮を訪れた方にご覧いただけるほか、2 階には屋外テラスがあり、広大な斎宮跡の眺めを楽しんでいただけます。



2 階からの眺め



1 階平面図

- 1: エントランスホールに展示の葱華輦
- 2: 増淵教授 (京都橘大学) による記念講演
- 3: 休憩スペースには 300 人程度が入れます
- 4: 「斎王の舞」による竣工式記念の舞

安養寺の文化財が 三重県の有形文化財に指定されました!!

上野の安養寺が所蔵する明和町指定文化財「仏通禅師所用法衣並びに什物」について、平成 29 年 2 月 2 日に三重県指定文化財への新指定が決定されました。平成 29 年 2 月 17 日、三重県庁にて山口千代己教育長より指定書が交付されました。

ぶつつうぜんじしょうほうえ でんらいじゅうもつ
「**仏通禅師所用法衣並びに伝来什物**」

三重県指定有形文化財（工芸品）

- しちじょうけさ 一領 じきとつ 二領
・七条袈裟
- ずだぶくろ 一口 えしゃくじょう 一柄
・頭陀袋
- かみそりばこ 一合 並びに かみそり 二口
・剃刀箱
- はつう 五口、匙 一口、筋 一对
附 鉢盂

平成 29 年 2 月 2 日指定



※今回指定された文化財の一般公開は文化財の保護の為、行っておりません。

特に注目！ 七条袈裟

袈裟の生地には中国（南宋）から伝わったものを用いており、鎌倉時代までさかのぼるものです。県指定の染織品としては県内最古級の資料で、学術的・文化的な価値が極めて高い、第一級資料です。



<縁部分>
尾長鳥の文様が見られます



<環部分>
緑漆で花唐草を表現

仏通禅師と安養寺

安養寺は臨済宗東福寺派に属し、永仁 5 年（1297）に癡兀大恵（諡号：仏通禅師）によって開山されました。今回指定された品々は、仏通禅師の所有と伝えられるものです。仏通禅師は伊勢国出身で、比叡山で学んだ後、東福寺開山の円爾えんにの門人となり、応長元年（1311）に東福寺第 9 世住持となりました。正和元年（1312）に安養寺で亡くなったと伝えられています。



安養寺境内、開山堂の癡兀大恵像